

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

# 1-2\_直線単路での危険\_歩行者編

\* 感情コントロール：おごり・過信 \*

### インストラクター 手引き書

この講習は、通常の交通安全講習とは異なり、受講者の皆さんが主体です。ディスカッションを行う際は、コーチングの基本を参考に、進めてください。

#### ◎コーチングの基本

- ・ どんな意見に対しても否定はしないこと。
- ・ 自由奔放に意見ができる雰囲気をつくること。  
(真面目な意見も面白い意見も大歓迎)
- ・ 人の意見と同じでもいいし、そこから発展させることも大いに結構。

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

### 1-2\_直線単路での危険\_歩行者編 \* 感情コントロール：おごり・過信 \*

#### ●はじめに

交通事故による死者は、歩行中が最も多く、そのうちの7割は、道路を横断するときに発生しています。ドライバー・歩行者、双方の不注意と見逃しが重なることが、主な要因となり、横断歩行者の事故は起きています。

不注意や、見逃しをしてしまうなど、危険を察知する力が欠けてしまう理由のひとつに、わたしたち人間は、体調や気分、それぞれの性格によって、異なる判断をし、ときに正しい行動ができなくなることがあります。

「横断歩行者保護 交通安全コーチング」では、自分自身を振り返り、自分はどんな感情を持ちやすいか、そしてその感情がどのような危険行動をもたらすかに気づき、知ってもらい、横断歩行者保護の啓発につながることを、目的としています。

本動画では、直線単路の歩行者視点における、「おごりの感情」をテーマとしています。

#### ●ゴール

歩行中の「おごり」の感情（安全への過信/車は来ないという思い込み/過去経験からくる信じ込み（これまで危ない目には合わなかった・いつも大丈夫）/過剰な被保護者意識（車が歩行者保護の義務がある）を抑えて、安全行動を行えるようにすること、信じ込みを改めて危険感受性をたかめることです。

#### ●プログラム（※受講者へワークシートを配布し、プログラムに沿って進行してください）

- 1: グループ（4名～6名くらいで1グループ）を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで決めてください。
- 2: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。（約4分）
- 3: 自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループ内で、ディスカッションをしてもらいます。（約10分）
- 4: 自身のコントロール方法について具体的に考えます。グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約5分）
- 5: 各グループから発表された解決方法から、自分が行えそうな方法を選択します。参加者各自がその選択した解決方法について発表します。（約5分）

所要時間： 約20分～30分

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

### 1-2\_直線単路での危険\_歩行者編 \* 感情コントロール：おごり・過信 \*

#### ●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 1: グループ（4名～6名くらいで1グループ）を作り、発表する役割をもつチームリーダーを各グループで決めてください。
- 2: 動画を再生し、最後まで動画を視聴します。（約4分）

インストラクター：

「これからお見せするのは、歩行者が、近所のコンビニへ買い物に行く動画です。この動画で、道路を横断するときに起こりやすいヒヤリハットについて考えたいと思います。そして、安全への過信から来る事故防止について、考えていきましょう。」

#### ★動画START（最後まで視聴します）

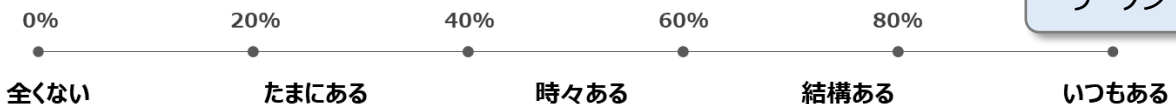
- 3: 自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループ内で、ディスカッションをしてもらいます。（約10分）

インストラクター：

「ご覧いただいた動画では、近所へ買い物へ行く歩行者の危険行動について紹介しました。」

「皆さんは最近、歩いていて、危険が迫りヒヤリとした経験はありませんか？  
ここ1カ月くらいの間に、ヒヤリとした頻度について、ワークシート〈図A〉の該当する箇所に「○」印を付けてください。」

〈図A〉 最近（ここ1カ月）歩いていて、危険が迫りヒヤリとした頻度について、「○」をつけてください。



## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

### 1-2\_直線単路での危険\_歩行者編 \* 感情コントロール：おごり・過信 \*

#### ●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

3: 自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループ内で、ディスカッションをしてもらいます。

インストラクター：

「また、実際どのような危険が迫りヒヤリとしたのか、1番危険を感じたヒヤリ体験について、いつ、どこで、どのような体験だったか、ワークシート<図B>の左側の欄に具体的に記入してください。」

<図B> ヒヤリとした歩行中の経験内容と、そのヒヤリが発生した「相手」と「自分」の問題について、記入してください

ヒヤリとした具体的な経験内容	相手の問題	自分の問題
(例) ①18時頃、道路を横断しようとしたら車にぶつかりそうになった。 ②お昼時に歩いていたら、自転車が横切りぶつかりそうになった。	(例) ①スピードの出しすぎ、注意力不足。 ②歩道を自転車が走行するのはルール違反。	(例) ①いつも利用している道だからと気が抜けていた。 ②スマホをいじりながら歩いていて、周囲への警戒が薄かった。

受講者ワークシート

インストラクター：

「なぜそんな危険が起こったのでしょうか。相手の問題を考えた後に、事故に合わないためにあなたができる方法、を考えていきます。」

「まずは、そのヒヤリとした経験が起きた要因として、相手に何の問題があったと思うか、自分の問題は何かがあったか、ワークシート<図B>の真ん中と右側の欄に具体的に記載してください。」

<図B> ヒヤリとした歩行中の経験内容と、そのヒヤリが発生した「相手」と「自分」の問題について、記入してください

ヒヤリとした具体的な経験内容	相手の問題	自分の問題
(例) ①18時頃、道路を横断しようとしたら車にぶつかりそうになった。 ②お昼時に歩いていたら、自転車が横切りぶつかりそうになった。	(例) ①スピードの出しすぎ、注意力不足。 ②歩道を自転車が走行するのはルール違反。	(例) ①いつも利用している道だからと気が抜けていた。 ②スマホをいじりながら歩いていて、周囲への警戒が薄かった。

受講者ワークシート

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

### 1-2\_直線単路での危険\_歩行者編 \* 感情コントロール：おごり・過信 \*

#### ●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 3: 自分への振り返りと気づきの教育を行います。各自ワークシートへ記入し、グループ内で、ディスカッションをしてもらいます。

※参加者が戸惑うようであれば、「呼び水」程度にどのような問題があるか、内容を示してください

- 例) **相手の問題** 運転マナー  
 スピードの出し過ぎ  
 周りをよく見ていない
- 自分の問題** 注意不足  
 思い込み  
 油断  
 いつもの習慣（くせ、慣れ）  
 ドライバーが守ってくれる・守るべき

インストラクター：

「記入を終えたら、グループごとにディスカッションしてください。」

「皆さんがヒヤリとした経験と、その要因として、相手、自分にどんな問題があったか、その経験を共有しましょう。」

- 4: 自身のコントロール方法について具体的に考えます。  
 グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。（約5分）

インストラクター：

「相手の問題を変えさせるのは難しいですね。それなら、自分の考えや行動をどう変えることで危険を回避できるのか、ワークシートも使いながらグループで話してください。」

「グループリーダーは、グループ内で話した危険回避のための自分の側の対処方法について、発表をお願いします。」

どのような自分への対処方法があるか、記入してください。いくつでも構いません。

受講者  
ワークシート

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

### 1-2\_直線単路での危険\_歩行者編 \* 感情コントロール：おごり・過信 \*

#### ●横断歩行者保護 交通安全コーチング 進行フロー

- 4: 自身のコントロール方法について具体的に考えます。  
グループ内でディスカッションした内容をグループリーダーに発表してもらいます。

※発表された自分への対処方法について、受講者が視認できるようホワイトボードなどに書き出してください。

(例)

- ・相手（クルマや自転車）を信用しない。
- ・急いでいるときこそゆっくり歩く。
- ・見通しの悪い交差点などはしっかり確認してから渡る。
- ・急な動作を起こさない（走らない、進路変更しない）。
- ・きちんと安全を確かめてから動作を始める。

- 5: 各グループから発表された解決方法から、自分が行えそうな方法を選択します。  
参加者各自がその選択した解決方法について発表します。（約5分）

インストラクター：

「色々な解決法が出てきましたね。この中から、自分が実際に行うことができそうな解決方法を選んでください。いくつでも構いません。」

「最後に、各自で発表していただいて、このプログラムは終了します。」

自分が行えそうな解決方法を記入してください。いくつでも構いません。

受講者  
ワークシート

## 横断歩行者保護 交通安全コーチング

### 1-2\_直線単路での危険\_歩行者編 \* 感情コントロール：おごり・過信 \*

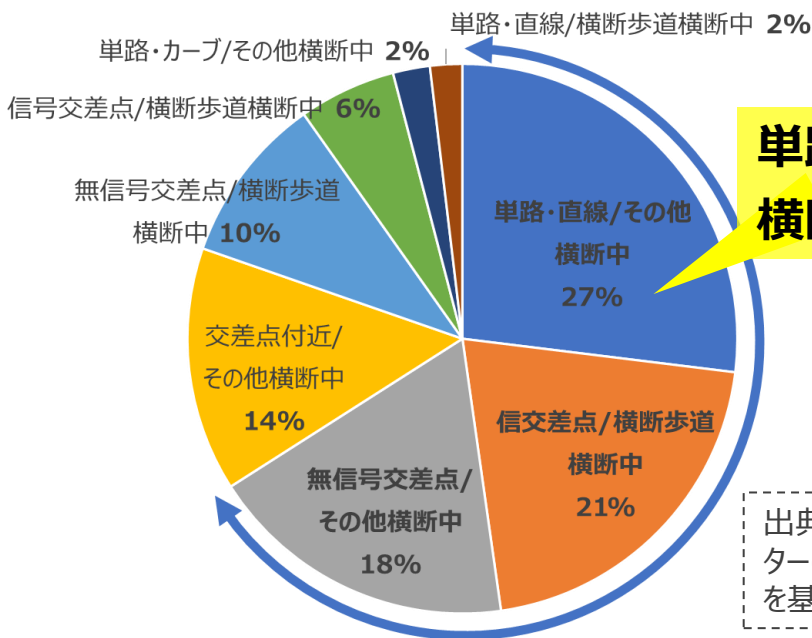
終了となります。

➤ 歩行者の死亡事故の約7割が横断中で、道路形状別にみると、以下の場所で死亡事故が多発。

- ① 単路・直線/その他横断中27%
- ② 信号交差点/横断歩道横断中21%
- ③ 無信号交差点/その他横断中18%

横断中歩行者死者数

相手四輪 2018~2020 n=2,132



単路・直線/その他横断中27%

出典：（公財）交通事故総合分析センターの集計データ（2021年4月1日時点）を基に作成。

	① 単路・直線/その他横断中	② 信号交差点/横断歩道横断中	③ 無信号交差点/その他横断中
多い事故の形	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故</li> </ul> <p>四輪直進中の事故98%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 右折四輪車と歩行者の事故</li> </ul> <p>四輪右折中の事故48%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故</li> </ul> <p>四輪直進中の事故44%</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直進四輪車と「右から」の歩行者との事故</li> </ul> <p>四輪直進中の事故85%</p>	